

ナナミちゃんの農事通信

山梨県北杜市明野町で「雨と風と太陽と」
 「土と人情」に囲まれた。ナナミ
 ちゃんの「私、土の子」奮闘記



おやつ! 食べ
 てる!! 孫の手
 からハナが
 02.18撮影

1 貰った! 玉ネギ苗

今年の玉ネギは前年の三分の一以下に、種を蒔いたが発芽せず、毎年好調の赤玉ネギもダメでした。今月、近所の農家で「もったいないので、植えるかい?」と玉ネギ苗を持って来てくれた。いただき早速植えた。温かな日が続いたので育てばよいが、苗は早生のサラダ玉ネギだとか。



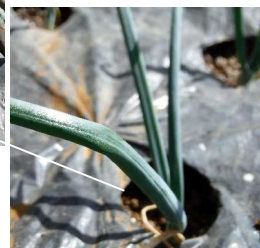
ノ使い慣れた
 手作り苗植え
 道具で玉ネギ
 苗を植える。
 →余った苗を
 パンダ豆腐
 レーム治い
 に、肥料をほ
 どこし全部植
 え終った。



↑玉ネギ苗を沢山貰い
 ←玉ネギ畝のネットを開け



↑昨年11月26日に苗植えした玉
 ネギ、成長にバラつきが。ノ小さい
 モノは抜き、苗に植え替えた。



2 「ナナミちゃんのお宿」は?



↑夕食は「曙大豆ご飯」もちり
 大豆と旨味もご飯にしみて。
 ↓朝食は「グリーンピースご飯」
 ホックリした豆の食感がオイシイ



↑夕食は「梅酢ご飯」サッパリし
 た味が、料理と合います。この日
 朝食は「グリーンピースご飯」



↑夕食は「生姜ご飯」エリンギの歯
 応え、ひき肉と生姜の味が美味し。
 ↓朝食は「黒豆おこわ」梅酢で桜色
 に大粒黒豆との色合いが食欲を。



夕食に朝食、お馴染みのお客様や連泊してくださるお客様に、力力は前回の宿泊メニューを見て、同じにならないよう頭悩ましています。保存できる豆や梅酢など重宝し、炊込みご飯や一味付けたご飯にして、お出ししています。

目次

1 貰った! 玉ネギ苗	1
2 「ナナミちゃんのお宿」は?	1
3 今の畑は	2
4 二月のお味	2

ハイライト

雨水・初候2月18~22日「土脉潤起 つちのしょううるおいおこる」「脉」は脈の俗字。「潤起」は潤い目覚めることを表し、全体では、雨が降り注ぎ、土が湿り気を含み出すという意味。この時期はまだ気温が低いいため、雨が降った後も乾きにくく、これに雪解けや霜も加わって土がぬかるみやすい。これを「春泥」という。歩きにくいのは困るが、このぬかるみも春の本格的な訪れを実感させる風物詩の一つだっ



青色の金魚鉢火屋に
 油壺。豆ランプは湯
 殿や廁などの明り。

た。まだ残る雪を押しつけて咲く花もあり、それらは「雪割草」「雪割花」と総称される。サクラソウ科の多年草はその代表格で、日本全土の高山地帯に自生する。キンポウゲ科の「一輪草」や「二輪草」ユリ科の「狸袴しようじょうばかま」などをさすこともある。わが家の一輪草、昨年は3月11日に発芽し開花は4月5日。庭は、梅のツボミまだ硬く蟬梅だけが咲いて、まだ春遠い明野のわが家です。

3 今の畑は



↑02.14 結球しなかった白菜の虫取り、ノ花芽が付き始め、→この白菜から葉を一から二枚ほど収穫、自家用に



↑葉先が枯れた白菜を収穫
↓白菜の葉を剥がしてゆくと、中に虫が住み糞も!!



←白菜の頭頂部、柔らかい葉先から腐て行く。
←腐った葉や枯れた葉を一枚二枚と剥いてゆくと、食べる葉が無くなってしまふので、腐った頭頂部を包丁で切り落とし自家用に。ノ白菜の中身以上に棄てる葉が多い。白菜だって生きるのに一生懸命、捨てる野菜の葉も野鳥が食べる、緑色の無い厳しい冬のこの時期は。

いつもの年より今年は寒い。トンネル畝の冬越し野菜には、寒さに合わせ保温シートをかぶせ、霜除けネットをかけ、ビニールシートで二重に被うなどしてありますが、野菜自身が糖度を高めて自己防衛しても、気温が下がり過ぎ限界を越え水分が凍り腐ってしまった。少しでも食べられるところは、自家消費するなどしています。さらに降雨少なく野菜はピンチに、2月も下旬になってから暖かな日が続く、春間近か?



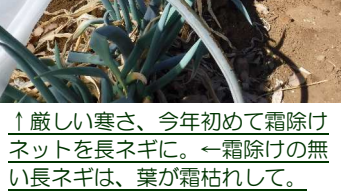
→02.14毎年種が落ちて育つ青菜、寒さに強い昔菜の鳥除けカゴを外し収穫。



ノカリフラワー畝を点検
↑食用部分の花房が腐った株を抜く、寒さでダメに。

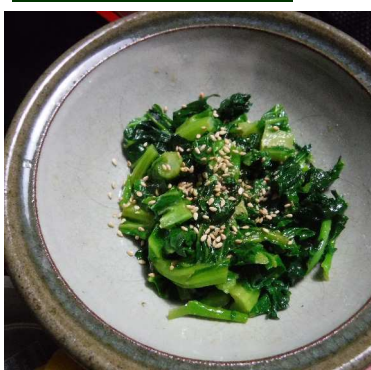


↑カリフラワーの芯の柔らかい葉を摘んで食べる。



↑厳しい寒さ、今年初めて霜除けネットを長ネギに。←霜除けの無い長ネギは、葉が霜枯れして。

4 二月のお味



「カリフラワー柔らかナムル」カリフラワーの葉を茹で、メン汁とゴマ油にラー油で和える。柔らかい葉も旨し。



「昔菜ナムル」茹でた昔菜にメン汁とゴマ油にラー油で和える。焼き海苔で旨味も増す。コマドレッシングでもオイシイ



「白菜うどん」白菜の白い茎の部分を細長く切り、有り合せの野菜と旨味は三枚肉で、出し汁はメン汁などで。

捨てるにいただく野菜のお味。冬は野菜不足ですが今年は特に。「もったいない」の心で、野菜を大切に。



ノ散歩で畑へルッコラ摘んでポテサラの薬味